

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者の急性期の対応についての取り組みはなされているが、重度化や終末期に向けた方針が口頭のみで終わり、ホームの指針が文書化されていない。	ホームとして重度化や終末期に対しどのように関わっていくのか文書化しチームで共有する。	経営者と話し合いを行い、今後は文書でそれぞれの状態に応じ契約を交わすようになった。また往診を取り入れ看護師を雇うなど努力をしている。ホームとしてチームとして重度化や終末期の対応を常に話し合っている。	6ヶ月
2		ホームが2階にあるので避難誘導に無理があり、地域との協力体制の確立を望んでいる。	地域の協力を得て、具体的な防災マニュアルの策定を行う。	代表と話し合い地域の自治消防団員と連携を図るようになった。近隣住民に呼びかけを行い次回、避難訓練に参加してもらうよう働きかける。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。